

地域貢献への取り組み

JAバンク三重は、金融機能の提供にとどまらず、産業・環境・スポーツ・文化といった面でも地域社会の活性化に寄与できるようさまざまな取組みを積極的に行っています。

▶ 地域産業の活性化・経営支援への取り組み

● クラウドファンディングによるプロジェクト応援

当会では、令和2年12月に株式会社CAMPFIREと業務提携し、クラウドファンディングの手法を活用した資金調達により、地元ブランドの魅力発信や新たなサービスの導入などに取り組むお取引先のサポートに取り組んでいます。

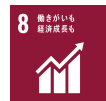


プロジェクトオーナーが販売する商品



● コンサルティング機能の発揮等による地域企業の経営支援

当会は、JAグループのネットワークを活用したビジネスマッチングによる販路拡大のサポートなどに取り組むとともに、弁護士や公認会計士等の外部専門家との連携によるコンサルティング機能の提供などにより、地域企業の経営支援に努めています。また、「金融円滑化にかかる基本方針」や「経営者保証に関するガイドライン」に則り、安易に担保・保証に依存することなく、資金の円滑な供給に努めています。



● 再生可能エネルギー普及に向けた支援

当会は、お取引先の太陽光発電事業やバイオマス発電事業を資金面からサポートし、地域における再生可能エネルギー普及に向けた支援を行っています。



▶ 地域金融機関としての取り組み

● 利便性の高いキャッシュカードサービスの提供



JAバンク三重のキャッシュカードは、全国約11,500台のJAバンクATMはもちろん、ATM提携等により、「百五銀行」、「三十三銀行」、「県内4信金」、「三菱UFJ銀行」などの銀行ATMがご利用手数料“無料”※でご利用いただけます。

※ご利用時間帯によっては、時間外手数料が必要となる場合があります。

詳しくは、「JAバンク三重」のホームページ (<http://www.jamie.or.jp/jabanking/>) 等でご確認ください。

● スマートフォンアプリを活用した非対面金融サービスの提供



JAバンクでは、キャッシュカードをお持ちであればスマートフォンから貯金残高や投資信託残高、入出金明細等を手軽に確認できる「JAバンクアプリ」を取り扱っています。また、JAネットバンクをご利用されている場合は、「マネーフォワード for JAバンク」から貯金残高や入出金明細の確認に加え、クレジットカード等の利用明細の一括管理が可能です。



JAバンクアプリ



マネーフォワード for JAバンク

● 誰もがご利用しやすい店舗づくり



JAバンク三重では、より多くのお客さまに安心してご利用いただけるよう、全店舗に携帯助聴器、簡易筆談器、杖ホルダーなどを配備するとともに、ATMコーナーには、車いすのお客さまがATM本体に近づきやすいツイングリップ（手掛け）や、目の不自由なお客さまも操作できる“音声案内システム”を導入しています。

● ATMへの抗菌・抗ウイルス加工の施工



JAバンク三重では、新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策として、組合員をはじめとした地域の皆さまが、これまでどおり安心してATMをご利用いただけるよう、県下全てのJAバンクATM（350台）に対し、抗菌・抗ウイルス加工を施工しました。

地域貢献への取り組み

● 特殊詐欺被害防止に向けた注意喚起活動

JAバンク三重では、振り込み詐欺をはじめとする特殊詐欺被害防止に向けて、注意喚起のチラシおよびステッカーをATM等へ貼付しているほか、70歳以上のお客さまに「キャッシュカードのご出金限度額引下げ」または「キャッシュカードのご利用停止」を勧奨しています。



● 優遇金利ローンの取扱いによりさまざまな取組みをサポート

JAバンク三重では、“三重の木” 認証材を使用した建築住宅にかかるJA住宅ローンの金利優遇や「三重県交通安全協会会員証」、「SD (SAFE DRIVER) カード」、「三重とこわか健康応援カード」、「消防団員カード」保有者に対するJAマイカーローンの金利優遇を通じ、県内の各団体における環境保全や交通安全の啓蒙、県民の健康づくり等に向けた活動を支援しています。



● JA住宅ローンの新規利用者に対する新生活のサポート

JAバンク三重では、家電量販店や引越し業者と業務提携を行い、JA住宅ローンの新規ご利用者が当該提携先で利用できるポイントや割引優待の特典を提供することで、お客さまの新生活（家電製品のご購入やお引越し）をサポートしています。



● 大規模災害発生に備えてのBCP (事業継続計画) 態勢の整備

JAバンク三重では、BCP態勢整備の一環として、大規模災害等の発生時での信用事業の業務継続にかかる実効性を高める観点から、JA間での相互連携等を想定した訓練を毎年実施しています。

また、業務継続態勢の充実を図るため、大規模災害発生時のネットワーク保全を目的とした迂回中継回線を整備しています。



● 金融移動店舗車両の導入

JAバンクでは、大規模災害等の発生によりJAの店舗やATMが被災した際に、貯金の入出金などの金融業務を取り扱うことができ、また通常時にはお客さまの利便性を高めるため店舗のない地域にも金融インフラを提供できる移動店舗車両の導入を進めており、現在当県では4台の移動店舗車両が運行しています。



導入している移動店舗車両

● 各種無料相談会の開催

JAバンク三重では、お客さまの年金・相続に関するお悩みをしっかりとサポートするため、社会保険労務士やファイナンシャルプランナーなどの専門家による無料相談会やセミナーをJA関連施設等で開催しています。また、暮らしの中で起こる様々な問題・悩みごとの解決に役立てていただこうと、弁護士による無料法律相談会を開催しています。



● 「新しい生活様式」に対応した店舗運営等

JAバンク三重では、新型コロナウイルス感染症対策として、店舗における除菌・換気の徹底や窓口へのアクリル板の設置、店舗を訪れる必要のないJAネットバンク・JAバンクアプリの利用促進、相談会のリモート開催などに取り組んでいます。



▶ 社会的貢献活動に関する取り組み

● 「美し国三重市町対抗駅伝」等への協賛

JAバンク三重は、市町間の交流促進ならびにスポーツに対する県民意識の高揚を目的として県内行政を挙げて開催する「美し国三重市町対抗駅伝」に、第1回大会から特別協賛しています。令和2年度においても、地元JAが管内の市町へスポーツドリンク等を贈呈し出場選手や関係者を激励するなど、大会開催に向けた機運醸成に取り組んでいましたが、令和2年度大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、残念ながら開催直前に中止となりました。

このほか、地域のスポーツ振興を支援するため、伊賀市に拠点を置く女子サッカークラブ「伊賀FCくノ一三重」をオフィシャルスポンサーとして応援しています。



伊賀FCくノ一三重の選手たち



● 「三重とこわか国体・三重とこわか大会」への協賛

JAグループ三重は、令和3年9～10月に本県で開催される「三重とこわか国体（第76回国民体育大会）および三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）」を応援するため、オフィシャルスポンサーとして企業協賛しています。



地域貢献への取り組み

● 小学生向け食農教育教材本の贈呈

JAバンクでは、「JAバンク食農教育応援事業」として、子どもたちに食と農業の関わり等への理解を深めてもらうことを目的に、地域の小学校や特別支援学校に対して教材本を寄贈しました。



● その他の貢献活動

当会は、上記以外にも以下の活動を行っています。

<公益財団法人三重ボランティア基金へ寄贈>

社会福祉に役立てていただこうと、役職員から寄せられた使用済み切手・はがき等を、公益財団法人三重ボランティア基金へ寄贈しました。



<社会福祉法人三重県社会福祉協議会へ寄贈>

役職員から寄せられた食料品（米・缶詰・レトルト食品等）を、困窮者支援事業を行う社会福祉法人三重県社会福祉協議会へ寄贈しました。



<認定NPO法人世界のこどもにワクチンを 日本委員会へ寄贈>

役職員から寄せられたペットボトルキャップを、NPO法人エコ・ワクチン協力会を経由し認定NPO法人「世界のこどもにワクチンを 日本委員会」へ寄贈しました。



<社会福祉法人三重県共同募金会へ寄贈>

役職員から寄せられた羽毛製品（ダウンジャケット）を、社会福祉法人三重県共同募金会へ寄贈しました。



<特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンターへの協賛>

社会福祉貢献の一環として、「市民活動・ボランティアニュース」を発行する特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンターに協賛しています。



<各種地域ネットワークへの加入>

社会福祉ならびに地域貢献の一環として、次のネットワークに正会員・賛助会員として参加しています。

- ・ 認定NPO法人三重いのちの電話協会
- ・ みえ次世代育成応援ネットワーク
- ・ NPO法人スペシャルオリンピックス日本・三重
- ・ NPO法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク



■ 地域への資金供給等の状況

当会がお預かりしている資金の大半は、地域の皆さまが県内のJAにお預けいただいた大切な貯金です。そしてこれらの資金は、農業関連法人をはじめとする地域の企業・団体や地方公共団体にご利用いただいています。

▶ 地域からの資金調達状況

◆預り先別貯金残高 (単位：百万円)

預り先		令和元年度	令和2年度
会 員	J A	1,953,266	1,976,806
	その他	27,720	30,238
会員以外		14,929	19,033
合 計		1,995,916	2,026,078

(注) 会員JAとは、総合JAをいいます。

▶ 地域への資金供給状況

◆貸出先別貸出金残高 (単位：百万円)

貸出先	令和元年度	令和2年度
会 員 等	12,537	10,664
地方公共団体	32,121	29,118
その他事業者	193,589	222,909
合 計	238,248	262,692

(注) 会員等とは、JAおよびJAの組合員等をいいます。

◆農業関係の貸出金残高（資金種類別） (単位：百万円)

種 類	令和元年度	令和2年度
プロパー資金	8,873	8,203
農業制度資金	762	759
うち農業近代化資金	381	556
うちその他制度資金	380	203
合 計	9,635	8,963

- (注) 1. 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
 2. プロパー資金とは、当会原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
 3. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことで当会が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
 4. その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。